



# 牧之原市の教育 2025

牧之原市教育委員会では、教育大綱の理念や教育目標の実現のため、また第3次総合計画の分野別計画にも位置付けられる計画として「教育振興基本計画」を策定しています。

この計画に基づき、本市では「こころざしを持ち 夢ある人づくり」を目指して次のとおり取り組んでいます。

## 牧之原市教育大綱 (令和6年度～令和12年度)

### 基本理念

# こころざしを持ち 夢ある人づくり

目指す人物像 ○気づき、考え、行動する人  
○人を思いやり、人との対話を大切にする人

教育の目標1 確かな学力をつけ、次代を切り拓く力を育成します

教育の目標2 豊かさが実現できる教育を推進します

1  
キャリア教育を軸にした9年間の学びの実現

2  
次代を切り拓く力を育む新しい学校の実現

3  
生きがいを持った豊かな暮らしを目指す生涯学習活動の推進

4  
充実した図書館機能の

5  
郷土の歴史・文化の振興

6  
スポーツの振興

## 牧之原市教育振興基本計画(令和5年度～令和8年度)



牧之原市は今年市制20周年を迎えます

## 1 キャリア教育を軸とした9年間の学びの実現

### 学校教育課

#### 小中一貫教育推進事業

「次代を切り拓く力」の資質・能力を育むために、キャリア教育を「起郷家教育」と称し、「地域の再発見（小5）」「命と防災（小6、中1）」を全校実施し、静岡大学と協働して「仕事と価値創造（中2・3）」のプログラムを作成しました。今後も3つの柱となるプログラムの充実を図っていきます。

また、授業では、教科ごとに作成された「9年間のカリキュラム」には義務教育9年間を見通す中で、「この発達段階ではこうなってほしい」という教員の願いが込められています。

### 学校教育課

#### 日本語初期支援教室いっぽ

令和5年4月に開講した日本語初期支援教室いっぽでは、海外から移住した外国籍児童生徒が、日本の小中学校での円滑な学校生活や学びを目指して学んでいます。最長6カ月という期間で、子どもたちはひらがな、カタカナの読み書き、小学校2年生程度の計算の習得などに励んでいます。また、日本の生活習慣についても学ぶことで、小中学校にスムーズにつなぐ役割を果たしています。

### 学校教育課

#### 教育支援センターフルール サテライト会場

教育支援センターフルールでは、さまざまな理由によって学校に通えなくなった子どもたちに対して、在籍校への復帰と社会的自立に向けた支援をしています。

昨年度から相良地域にサテライト校を開設しました。各校では、学習支援・交流活動・保護者や児童への相談活動などの支援を行っています。



### 学校教育課

#### 学校向け生成AIを活用した学習

これからの時代に必要となる情報活用能力を育むために「学校向け生成AI」を、県内の自治体に先駆け、小学校5年生以上に導入します。このAIは、質問に直接答えるのではなく、考えるヒントを提供します。活用により考える力や自ら学び方を工夫する力を伸ばしていきます。また、英語学習ではAIと対話することを通して、実践力を向上させていきます。

## 2 次代を切り拓く力を育む新しい学校の実現

### 学校再編推進室

#### 新しい学校づくり

子どもたちに次代を切り拓く力を育むためのより良い教育環境実現のため、市立小中学校10校を再編し、令和12年度に榛原地域に1校、令和15年度に相良地域に1校の施設一体型義務教育学校を設置していきます。

令和7年度には、榛原地域は、施設の基本設計及び敷地の造成設計、学校敷地の拡張部分の土地の取得及び仁田体育館等の解体工事を進め、相良地域は、学校敷地となる場所の用地取得及び進入路となる場所の埋蔵文化財発掘調査を進めます。

3 生きがいを持った豊かな暮らしを目指す生涯学習活動の推進

社会教育課 生涯学習事業「まきのほら塾」

「まなびかがやくまきのほら」をキャッチコピーとして「まきのほら塾」が開催されています。

令和7年度は、97名の講師による218講座が開催され1,900名を超える受講生が参加予定で、学びによる生活の豊かさが実現できるような生涯学習の場を提供しています。

4 図書館機能の充実

社会教育課 図書館事業

令和6年4月にリニューアルオープンした文化の森図書館「いろ葉」は、開館1年で63,000人が来館し、図書交流館「いこっと」と合わせ159,000人が図書館を訪れています。図書館では季節や文化に親しむイベントや学びを支える講座など、多様なサービスを提供していきます。

5 郷土の歴史・文化の振興

大河ドラマ活用推進室 田沼意次侯顕彰事業

郷土の偉人田沼意次侯については、2019（令和元）年の生誕300年を契機に、功績の顕彰を通じて、地域の活性化や郷土愛醸成につなげる取り組みを進めています。2025年のNHK大河ドラマ「べらぼう～蔦重栄華乃夢噺（つたじゅうえいがのゆめばなし）～」では、主要人物として登場しており、意次侯への注目が高まっています。

この機会を最大限に活かすため、市内各種団体で構成する牧之原市大河ドラマ「べらぼう」活用推進協議会を中心に、冊子などの広報物制作や大河ドラマ展の開催など、各種事業を展開し、意次侯の顕彰と地域活性化を目指していきます。



大河ドラマ活用推進室 将棋によるまちづくりの推進

郷土の偉人である田沼意次侯が将棋を好み、また、女流棋士の加藤桃子さんの出身地であることから、本市では将棋によるまちづくりを進めています。令和6年度には、藤井聡太王位によるトークショーが行われたほか、藤井王位が相良小学校を訪問し、指導対局などで児童と交流しました。

本年度も「伊藤園お～いお茶杯第66期王位戦七番勝負」の開催誘致を進めていきます。タイトル戦の実施を含め、将棋大会、指導対局の実施によって将棋の普及と振興を進めるとともに、子どもたちが将棋に親しむ機会を提供することで、集中力、忍耐力そして礼儀作法などの生きる力の育成にも取り組んでいきます。

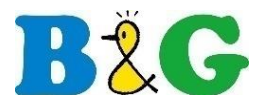
6 スポーツの振興

スポーツ推進課 相良B&G海洋センター大規模改修

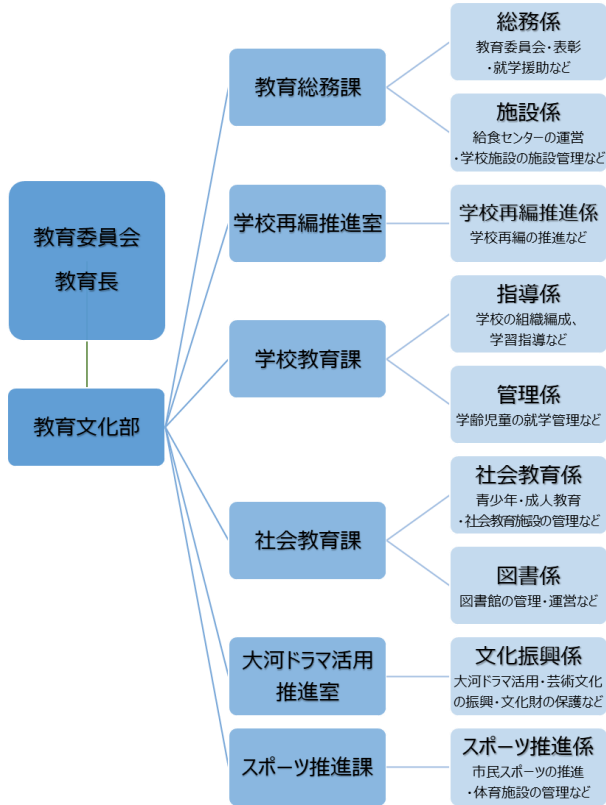
相良B & G海洋センターの体育館は、整備後40年が経過し、施設の老朽化が著しく、屋根からの雨漏りにより第1体育館が利用できないこともあります。市民スポーツの拠点施設として、屋根や外壁等の改修工事を実施し、施設の長寿命化を図ります。

令和元年度に策定した「社会体育施設修繕計画」に基づき、計画的に実施する改修で、既存体育施設の機能を充実させるとともに、利用者の安心と安全を確保します。

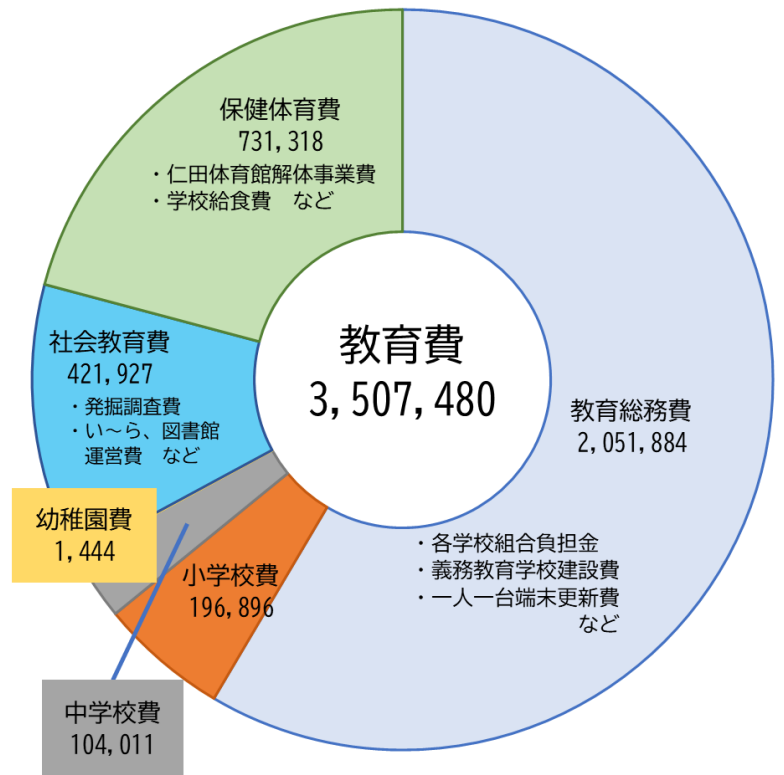
改修費には、B & G財団の修繕助成金が用いられます。



## 牧之原市教育委員会組織図 (令和7年4月1日現在)



## 令和7年度教育費予算(単位:千円)



## 市内小中学校学級編成状況 (令和7年5月1日現在)

学校名	児童生徒、クラス数 (内は特別支援児童生徒及びクラス数で内数)
① 相良小学校	341(23)人 16(4)クラス
② 菅山小学校	108(2)人 7(1)クラス
③ 萩間小学校	132(6)人 8(2)クラス
④ 地頭方小学校	161(8)人 8(2)クラス
⑤ 川崎小学校	358(17)人 15(3)クラス
⑥ 細江小学校	385(19)人 15(3)クラス
⑦ 勝間田小学校	99(4)人 7(1)クラス
⑧ 坂部小学校	126(10)人 8(2)クラス
⑨ 組合立牧之原小学校	166(5)人 8(2)クラス
小学校計	1,876人 92クラス
⑩ 相良中学校	388(20)人 16(4)クラス
⑪ 榛原中学校	517(21)人 18(3)クラス
⑫ 組合立牧之原中学校	91(3)人 4(1)クラス
中学校計	996人 38クラス
合計	2,872人 130クラス

※組合立学校の児童生徒数については、菊川市民含む

## 主な教育施設

社会教育施設	
①	榛原文化センター 文化の森図書館 いろ葉
②	相良総合センター い〜ら
③	史料館
④	図書交流館いこっと
体育施設	
⑤	相良総合グラウンド
⑥	榛原総合運動公園
⑦	静波グラウンド
⑧	静波体育館
⑨	片浜体育館
⑩	相良B & G 海洋センター
⑪	GasOneアリーナ牧之原

## 主要な文化財

文化財			
①	国宝	古文書	聖武天皇勅書(平田寺)
②	重要文化財	建造物	大鐘家住宅 主屋・長屋門
③	重要無形文化財	無形	大江八幡神社の御船行事
④	民俗文化財	民俗	蛭ヶ谷の田遊び

